

クテハナラズトテアソバサズ、ソノチ三善提院殿眞敬法親、亭主ムカイニ出デテ待合ニテユ
手ノアソバセシトニアイタリトノ仰ニテ、コレヲウケタマハル、亭主ムカイニ出デテ待合ニテユ
ルユルト語り、サテ時歹モ好カルベシ御入アレトテ、同道シテ同ジク入ル、客ナ先へ、亭主ハア
此
時ニ掛物ヲカケズ、客ニカケサスルナリ、追而會席ヲ進ズベシ、コノ掛物、客カケモノヲトリテコ
レヲ掛ル、掛物ノオキヤウ、掛物竿ノオキヤウアリ、掛ケ仕舞タルトキ、亭主出テ釜ヲアゲ、炭ヲス
ルトキニ客ニ所望スル、タル通リニ記シ、亭主炭ヲ見テ釜ヲカケ、サテ會席ヲ出シ、亭主モ同ジク相
伴ス、亭主ノ膳ニハ、幾色ニテモモリ、客ノ汁ヲハジメ、カユルモノヲ亭主コレヲ盆ニテカへ、勝手
口ヨリ取カユル、サテ中立ニモ又ツレダチテ出ル、ソノ間ニ勝手ヨリ花生、又待合ニテ話シテ、又
ツレダチテ入ル、此トキニ手水鉢ノワキニ花ヲオクコトアリ、此トキハ花カゴニテ、幾色サテ又
同道シテ入りテ、茶入茶等ヲ吟味致スベシ、其間ニ花生ラレヨト云テ内へ入ル、客花ヲクバリテ、
下ノ重ニ生ケ、亭主出テ花ヲ見テホムルトキ、亭主ニ向テ、花ニモ餘慶アリ、チト生ラレヨト云、生
ルコトモ生スコトモアリ、生レバ上重ナリ、宗匠ニテ弟子ナド、サテ水指ヲハジメテハコビテカ
ザルナリ、茶モ相伴ス、

殘火會

〔南方録二〕殘火會

誰にても會するを問合、功者の亭主へ殘火所望の事有、口傳多、未熟の人成がたき事也、

黄昏會

〔和泉草三〕侘之格

一黄昏ノ茶湯ト云アリ、不慮ニ暮ニ客來ルニ、風爐ノ内ノ火ヲ能シテ呼入、次ノ間ヨリ燈ヲ取寄
シミ、ト座敷へ取出ス物也、是黄昏ノ茶湯ノ仕様也、諸邊其覺悟有ベキ也、

〔備前老人物語〕暮の茶湯といふことあり、會席をつねよりはやめに食し、酒すぎ湯吞終らば、膳を
こなたよりをし出すほどにして、はやく座をたち露地へ出べし、亭主もその心を去らば、これは
忝とて茶請をもち露地へ出べし、客も忝とて則食し、手水鶴飼して、はやく座敷へ入べし、亭主も